

# 令和2年度 第3回 飛騨市公共交通会議

令和3年1月21日(木) 14:00  
飛騨市役所 西庁舎3階 会議室1・2

## ◎あいさつ(都竹会長)

コロナ禍、緊急事態宣言の中の難しい時期での開催となったが、参加いただき感謝申し上げます。

本日は経過報告・自己評価と公共交通計画を議題としているが、コロナ禍の影響で昨年からのバスの利用者数に影響が出ている。飛騨市の場合は、観光需要はあまりないため、生活の変化がそのまま数字に表れる。学校の休校に伴うバス利用の減少が大きいですが、休校期間は夏前のため、その後は休校による影響は無いが、高齢者の外出機会減少の影響は依然出ていると考えている。飛騨市ではコロナ対策本部の会議を毎週開催しているが、その中でも病院の受診控えの話がでてくる。特に高齢者の歯医者受診が減っており、秋には受診をしましょう！というキャンペーンを行ったくらい減っているため、その辺りの事も公共交通利用減に影響していると思われる。

そういった中での数字であるため、実績の評価ということは難しい。不安定な状況が続くことは間違いなく、コロナ禍の収束というのなかなか先を見通せない。こうした状況の中ではあるが、なんとかやるべきことはしっかりやっていくということが重要と思っている。

そうした中で、新たに10月に稲越乗合タクシーを開始したが、比較的喜んで使ってもらえていると思う。初めての取り組みではあるが、数字についてもまずまずの結果となっていると思う。地域で自分たちで考えて使ってもらい、公共交通を自分たちのものとして考える意識醸成につながっていくものであり、この取り組みは今後もしっかり続けていきたい。また、神原峠線や神岡猪谷線への色々なところへの応用も考えられる。経費も下がっているため市としてもありがたい。

また、来年度の予算に関して、公共交通担当課の総務課の予算ではないが、市民福祉部地域包括ケア課の予算の中で、高齢者向けのいきいき券という制度のメニューに濃飛バスの回数券を追加する事を検討している。また、免許返納者に対するバスの回数券の購入を拡充することも検討している。免許返納者も増えているため、こういった方々が足の確保がしやすくなるようなことに使っていただきたい。そうなってくるとより分かり易い路線の説明も必要となってくるが今回交通ガイドを新しく作成しており、このようなことを組み合わせながらやっていきたい。また、免許返納してから初めてバスに乗るのではなく、早い時期から利用していただきバス慣れしていただくことも大切になると思う。そうした意味でも、先ほどのいきいき券のバスへの応用がバス利用の呼び水につながるのではないかと思う。

話は変わってコロナの対策について、市としても対策に苦慮しているが、それぞれの交通事業者も大変厳しい状況であると拝察している。秋には、貸切バスの利用に対する助成制度を設けるなどしているが、利用しようというマインドが戻って来ず、また感染拡大になれば集団での行動を控えることになり、難しい局面にあるが我々も知恵を絞ってやっていきたいと思っている。また、年末に発行したプレミアム食事券をタクシーでも使えるように食タクチケットとしてやっている。必ずしもこれで大きく利用が伸びるということではないと思うが、少しでも利用につながればと考えている。刻一刻と状況は変化しているが、その状況を見ながら何か交通事業者に対する支援をできないか考え、全力を挙げてやってきたいと思う。政府による持続化給付金の第2弾についても知事への要望、市長会での問題提起等を行っていきたい。

# 令和2年度 第3回 飛騨市公共交通会議

令和3年1月21日(木) 14:00  
飛騨市役所 西庁舎3階 会議室1・2

いずれにしてもこのような中で公共交通や交通事業者を取り巻く環境は大変厳しいものではあるが、無くなってしまっはいけないものであり、皆で全力を尽くして、知恵を絞ってやっていきたい。

【議長指名】 飛騨市総務部長 泉原委員

## 報告事項

### 1. 令和2年度第1回公共交通会議の議事要旨等について

【委員意見なし】

### 2. 飛騨市市営バスの実績について

【委員意見】

- ・コロナの影響を示す資料がこのままでゴチャゴチャしていて分かり難い。単純に見ようとしては、4月前と4月以降にどの路線がどのように利用者数が変化しているか見ることでもコロナの影響を見るのに分かり易い。これからは、そのようにして欲しい。

## 協議事項

### 1. 令和2年度地域公共交通確保維持改善事業の報告及び評価について

【委員意見】

- ・愛知県、岐阜県で緊急事態宣言が出されており、また以前よりコロナ禍の影響がある中で交通事業者の努力により運行が維持されていることに対して感謝申し上げる。また、各自治体においてもあらゆる面で交通事業者への支援等を行っていただき感謝申し上げます。国でも今後三次補正の話もでてくることから、事業者に対する国交省からの補助、自治体では地方交付税交付金の増額の活用を前向きに検討いただきたいと思う。

事業評価については、コロナの影響もある中、国としても利用者数や数値目標だけで判断すべきではないだろうと考えている。また、年度内には評価に関することを各自治体にお知らせする。

- ・中部様式4ページの表示について『利用者数の増加』とあるが『利用者数』ではないか？また、目標値に対して実績が半数程度なのに△評価になっている。これは、先ほどの話のとおり単に数値だけの評価ではないと思うが、そうだとすれば分けて考えてあることが判るようにしなければならぬと思う。それは6ページのところに上期、下期にキーワードだけでも良いので書くと良い。自己評価のことなので、自分たちでわかるようにしておいた方が良い。

### 2. 飛騨市地域公共交通計画について

【委員意見】

- ・内容については、ボリュームもあり法律が改正されていることもあるため、改めて確認する時間をいただきたい。
- ・P40 事業の実施について、各実施者が自分の名前が書いてあって自分が実施することを確認していただきたい。ここに書いてあることが重要で、自分の名前が書いてあって、

# 令和2年度 第3回 飛騨市公共交通会議

令和3年1月21日(木) 14:00  
飛騨市役所 西庁舎3階 会議室1・2

後で知らないということのないようにしていただきたい。できれば、各自やりたいこと、やる気のあることがあれば提案していただければありがたい。メンバー全員の名前があることが良いと思う。

次に、今に比べて何が変わるのかわかりにくい。飛騨市の特徴と言え、市営のバスと濃飛バスが一体的ということが大きな特徴だと思う。岐阜県内でもあまり無い。一般的に民営は民営、コミュニティバスはコミュニティバスだが、飛騨市は同じ運賃としている。しかもゾーン制の運賃を採用しており非常にわかりやすい。それゆえに利用が増えて負担も増えたが、わかりやすい運賃制で気軽に多くの人に利用してもらうということが大事な趣旨なので、堅持するなら堅持するということを書く。その上でこのやり方では費用が大きすぎる、実態に合っていないということであれば、地域の皆さんが主体的となって自分たちで使いやすく、費用もあまりかけないということを稲越乗合タクシーのように考える。ただし、全体的な趣旨は変えないということを書いた方がよい。言っていることは間違いないがはっきり書いていないので書いておく方がよいと思う。

また、タクシーが全く書いていない。コロナ禍の影響を大きく受けているので、タクシーの振興策についても書いていた方がよい。JRについても、利用状況を書いてどの駅をどう利用しようということがあるとよい。

最後に事業予定をカレンダーのように何月にいつやる、毎月何があるかということを書くと委員としても飛騨市はいつ何をしなければならぬか分かるため、わかりやすいスケジュールを載せること。

## 【議長】

- ・ボリュームも多いため2月末までに固めたいということでそれぞれ事業実施の件も含めて確認していただきご意見があれば事務局へ連絡していただきたい。

## 3. 実証実験神原峠線の期間延長について

【会長】 この路線については、地元の神原峠を通るバスがかつて在り、41号線に一本化したことから地元から非常に強い要望があり、当時非常に苦労して開始したが利用状況としてはこの通りとなっている。当時は乗らなかつたらやめるとしてはいたが、実験するなら思い切り実験してみたいという思いがある。実際に運行してみたら、買い物に利用するという思わぬ利用があり、濃飛バスでは41号線を走っているが、市営バスでは集落を通る狭い道を走ってみるなどいろんなことを考えてみたい。

## 【委員意見】

- ・利用状況を見ると、どの便も0人のことが多いということで良いか？また、利用がある場合はだいたい1人ということが多いか？

【事務局】 0人ということは多い。利用がある場合は、1人ということもあるが、地域の方が何人かグループで一緒に買い物に行くために利用されるケースもある。

## 【委員意見】

- ・0人が多いということであれば、デマンドの領域だと思う。現在マイクロで走っており、会長が言われたように思い切ってしまうということであればデマンドに切り替えるということも考えられる。自由度を高く色々できる可能性はあると思うのでこれからしっかり議論

# 令和2年度 第3回 飛騨市公共交通会議

令和3年1月21日(木) 14:00  
飛騨市役所 西庁舎3階 会議室1・2

していただきたい。

## その他

### 1. 奥飛騨富山線の変更について

#### 【濃飛バス】

- ・1/12 神岡町船津地内での物損事故について報告
- ・奥飛騨富山線は、奥飛騨から富山まで運行しており、平湯温泉から神岡までは上宝神岡線、神岡から猪谷までは神岡猪谷線、猪谷から富山まではJR線とそれぞれ競合して運行しているため、奥飛騨富山線が無くなり富山に行けなくなるということではない。

大きな変更点としては、のらマイカーの神岡から上宝支所へ回送していたものを実車とし、神岡から平湯温泉まで行けるようにし、また、これまでバスの大きさの関係で便によって飛騨市民病院に行ったり行かなかったりしていたものを、全ての便で飛騨市民病院を経由するようにしたい。

神岡猪谷線について8:25発のものが9:07に着いて9:13にJR発となっているが、国道工事や降雪によって稀に乗継が間に合わないということがあったため、接続に問題の無い範囲で10分早めさせていただきたい。

#### 【委員意見】

- ・富山から奥飛騨までの直通できていたものが3分割になる。今は富山駅で神岡行き、奥飛騨行きという行先の表示があるが、それが無くなるという事で小さな問題ではない。本来であれば1月の会議ではなく10月前に会議に出してどうするかという議論があるべきであったと思う。

ただ、一方で上宝の人も市民病院に行けるようになるというすごく良い変更もあるため、神岡・上宝の人にはしっかりアピールする必要がある。

また、富山から神岡までどうやって行ったらいいかの情報発信が弱いので、猪谷駅で乗り換えてバスで神岡へ行けるということをしっかり情報発信してアピールする必要がある。

いずれにしても、大事なことなので本当であれば「その他」ではなくて協議する事項であり、計画にも反映させていかなければならないと思う。

### 2. 危険なバス停について（岐阜運輸支局）

岐阜県内の危険なバス停をリストアップし、飛騨市内においては8箇所該当する。

今後、設置者において移設、廃止等の検討がなされるため、関係者においては移設・廃止等にかかる協議についてご協力をお願いしたい。

### 3. 高山・飛騨系統番号案について（加藤教授）

高山飛騨の路線全てに番号を振った方が良いと思案を作成した。

考え方としては、高山バスセンターから東西南北にバスがあり、古川方面は「F」、清見方面は「K」、また各市内を運行しているバスがあり、のらマイカーは「N」、ひだまるとは「O」などアルファベットと番号で表示してはどうかという提案を出させていただいた。観光客や外国の方は漢字が分からなくても理解でき、地元の高齢者も細かい感じが

# 令和2年度 第3回 飛騨市公共交通会議

令和3年1月21日(木) 14:00  
飛騨市役所 西庁舎3階 会議室1・2

---

見えなくても分かりやすい。コロナ禍の時につけておくと、終息して利用が多くなったときに分かり易くなっていると良いのではないかと思う。いきなり言われても難しいので是非検討していただきたい。